



平成 30 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 自重堂
代表者名 代表取締役社長 出原 正信
(コード番号 3597 東証第二部)
問合せ先 専務取締役業務本部本部長
谷口 郁志
(TEL 0847-51-8111)

平成 30 年 6 月期第 2 四半期 (累計) の連結業績予想と
実績の差異に関するお知らせ

本日公表しました平成 30 年 6 月期第 2 四半期決算短信と、平成 29 年 8 月 9 日に公表した業績予想に下記のとおり差異が発生いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 6 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値との差異
(平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,150	1,280	1,280	900	312.09
実績値(B)	8,321	1,471	1,774	1,270	440.56
増減額(B-A)	171	191	494	370	
増減率(%)	2.1	14.9	38.6	41.1	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 6 月期第 2 四半期)	8,098	1,432	2,591	1,895	651.53

※当社は、平成 30 年 1 月 1 日を効力発生日として普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 差異発生 の理由

平成 30 年 6 月期第 2 四半期の連結業績は、主力のユニフォームにおいては納期遅れによる販売機会ロスが発生したことにより、売上は前年を上回ったものの伸び悩み、フットウェア、医療用白衣・介護ウェア、メンズカジュアルは順調に売上を伸ばしたことから、売上高は、若干前回予想を上回ることとなりました。利益面においては、低価格品の販売が増加したことなどにより粗利率は若干低下したものの、販管費を抑制できたことなどから、営業利益は、前回予想を上回ることとなりました。経常利益は、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っております為替予約取引に係る時価評価によるデリバティブ評価益を営業外収益に計上することなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益とともに、前回予想を上回ることとなりました。

平成 30 年 6 月期通期の連結業績予想につきましては、第 2 四半期末以降の経済動向、為替動向並びにその業績に与える影響が依然として不透明ではありますが、第 2 四半期連結累計期間における業績の進捗並びに今後の見通しを踏まえ、平成 29 年 8 月 9 日の「平成 29 年 6 月期決算短信」で発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上